

船舶インシデント調査報告書

令和6年4月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和5年8月1日 14時26分ごろ
発生場所	千葉県富津市大貫漁港北西方沖 大貫港南防波堤灯台から真方位305° 1,600m付近 （概位 北緯35° 17.2′ 東経139° 50.0′）
インシデントの概要	プレジャーボート美咲丸は、錨泊中、船外機の始動ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年8月31日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 美咲丸、5トン未満（長さ5.09m） 232-34627千葉、個人所有 ガソリン機関、船外機、サイクル不詳、出力11kW、回転数毎分 不詳、気筒不詳、ボア不詳、使用燃料ガソリン、機関製造年月日不 詳、平成13年6月進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風速 約5m/s、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、大貫漁港北西方沖において、錨泊して釣りを開始した。 本船は、船長が釣り場を移動しようと船外機の始動操作をしたが始動できず、運航不能となった。 船長の118番通報により来援した公益社団法人水難救済会の所属船は、船長を救助し、本船をえい航した。
分析	本船は、錨泊中、釣り場を移動しようとした際、船外機を始動できず、運航不能となったものと考えられるが、船長から情報を得られなかったため、船外機を始動できなかった経緯を明らかにすることができなかった。
原因	本インシデントは、本船が、錨泊中、釣り場を移動しようとした際、船外機を始動できなかったことにより発生したものと考えられる。